ゾウの描き方

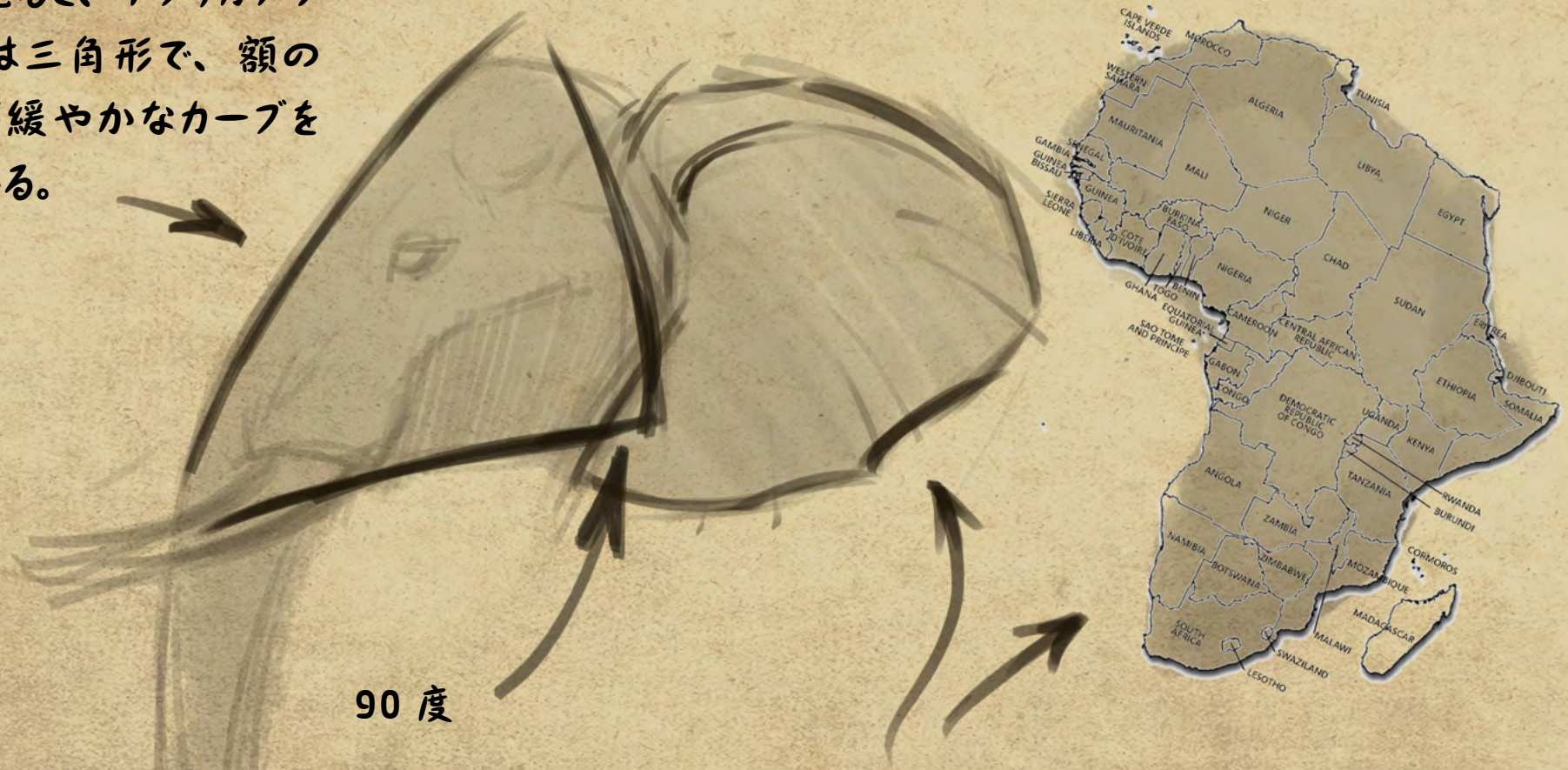
アーロン・ブレイズ

アフリカゾウ

まずは、ゾウを知ろう…
ゾウには、大きく分けて２種類がいる。
左はアフリカゾウ、右はアジアゾウだ。
しっかり見ると、ずいぶん大きい違いがある。
アフリカゾウからはじめ、基本的な相違点を説明していこう。

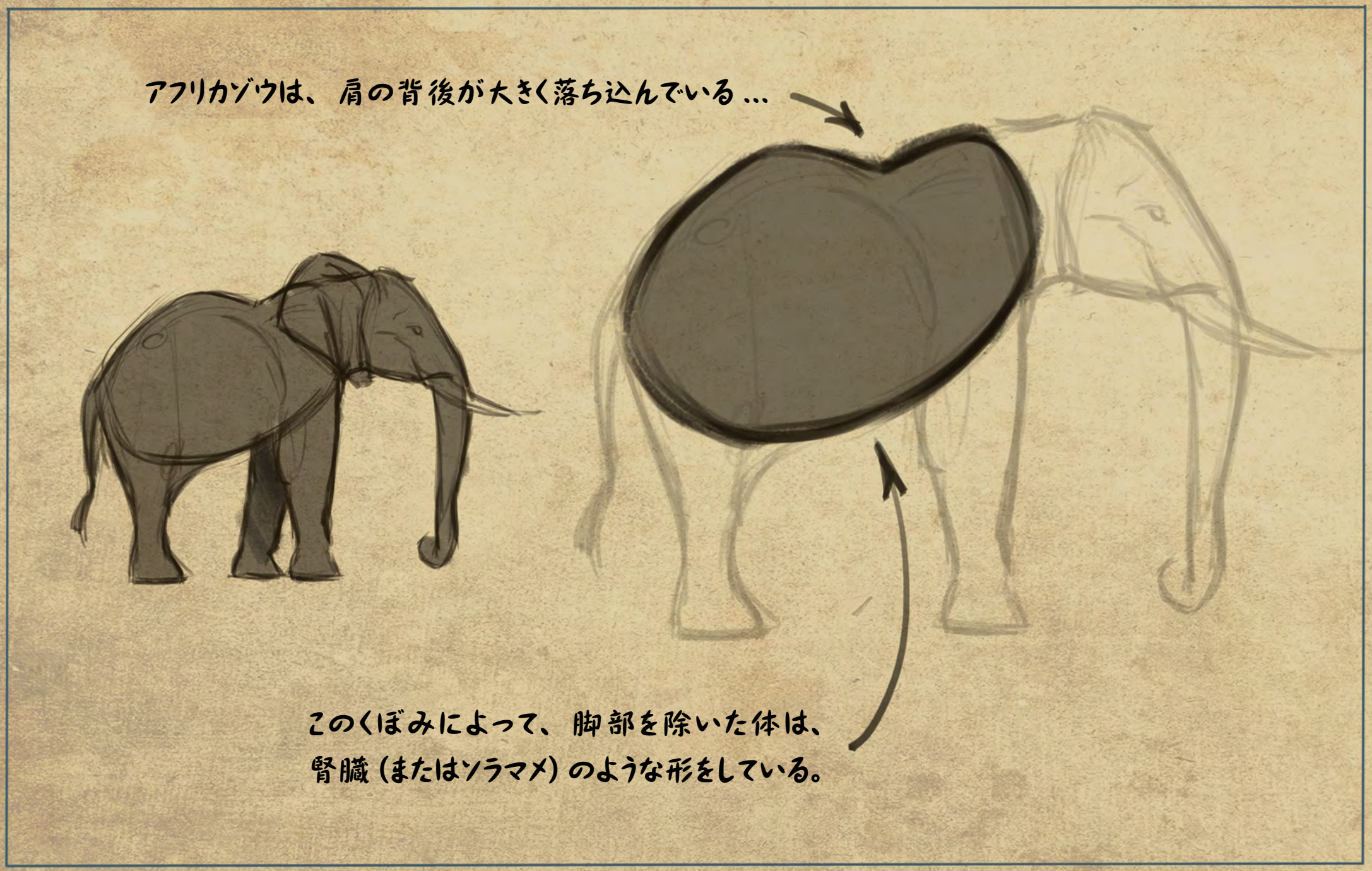
アジアゾウ

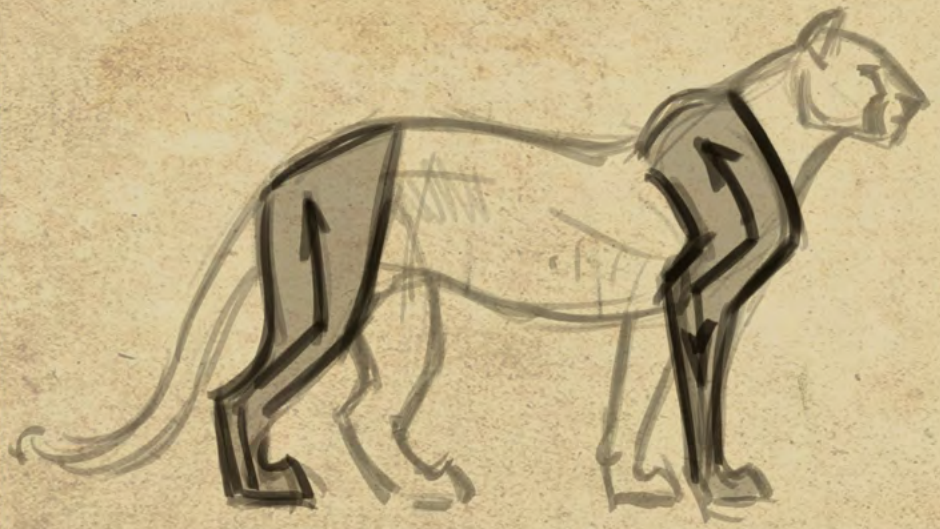
横から見ると、アフリカゾウの頭部は三角形で、額のあたりが緩やかなカーブを描いている。

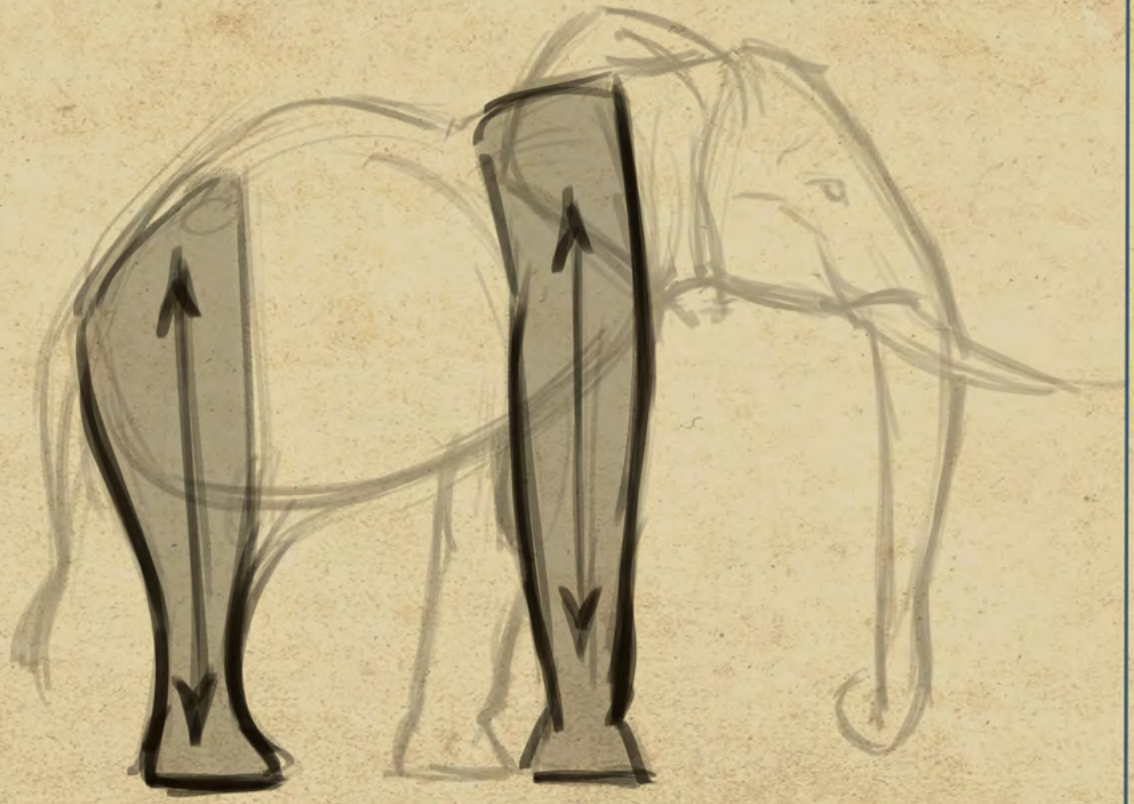


90 度

アフリカゾウの耳は、彼らの故郷、アフリカ大陸のような形をしている。

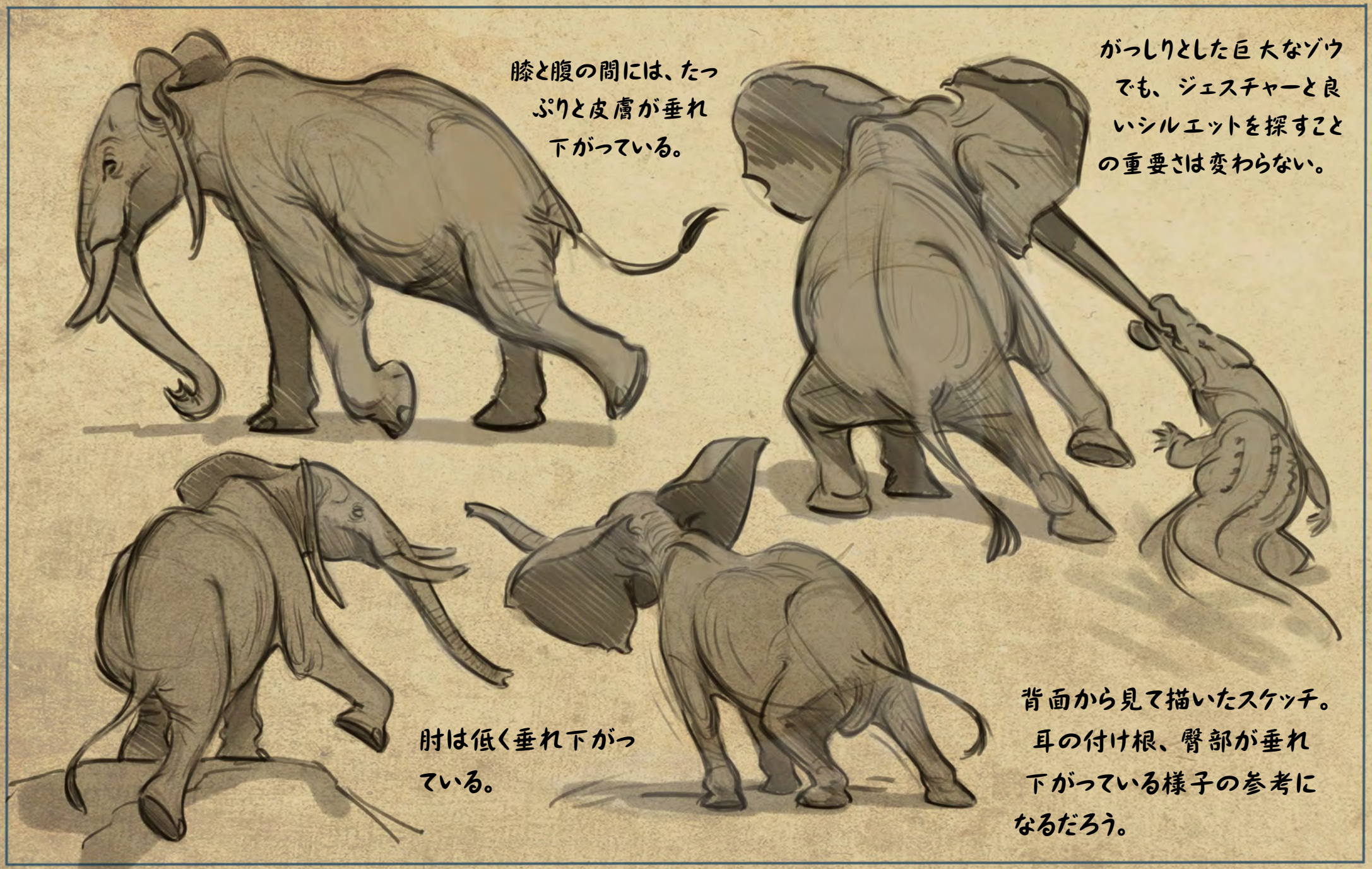

アフリカゾウは、肩の背後が大きく落ち込んでいる…
このくぼみによって、脚部を除いた体は、
腎臓（またはソラマメ）のような形をしている。

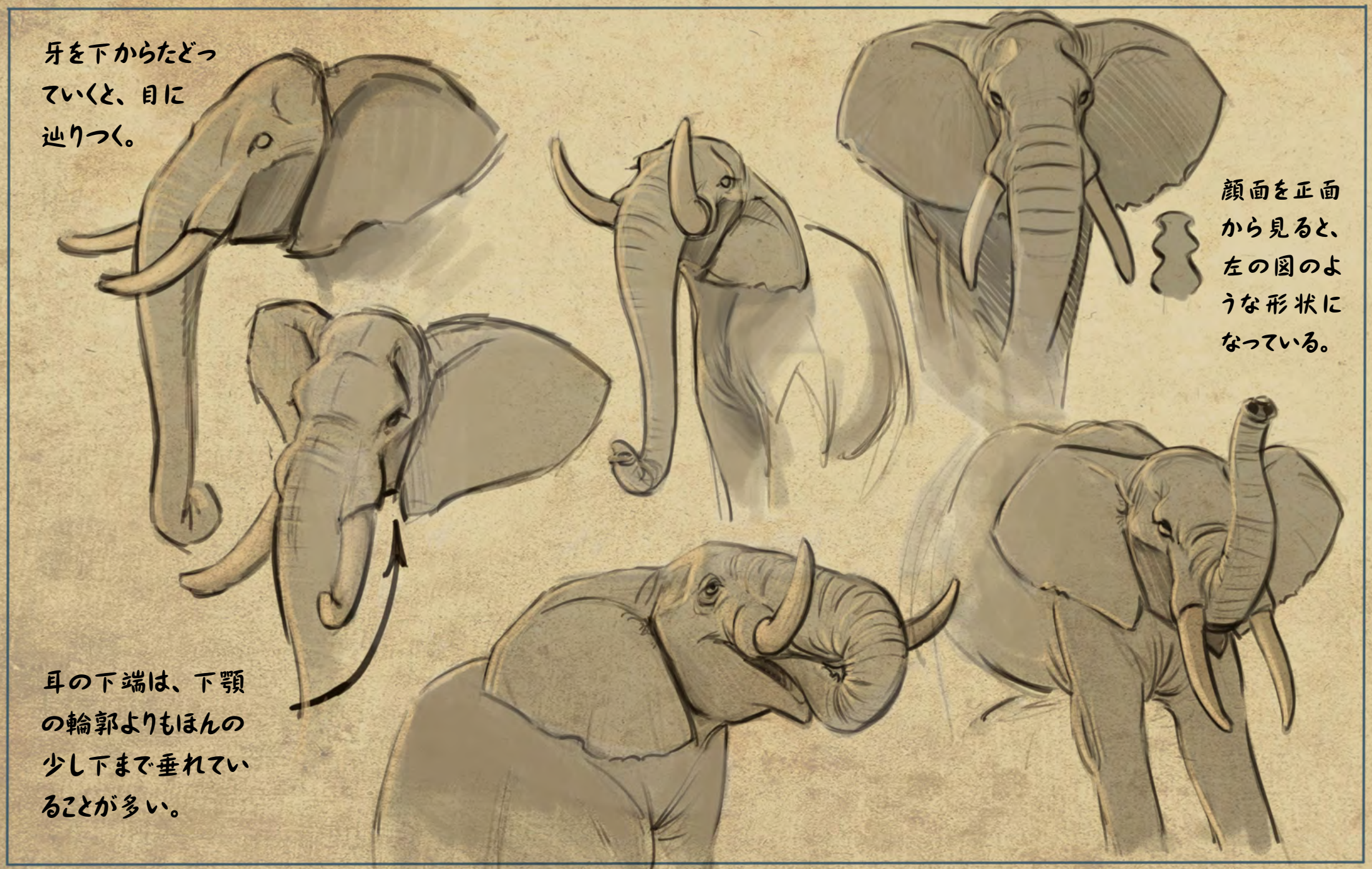


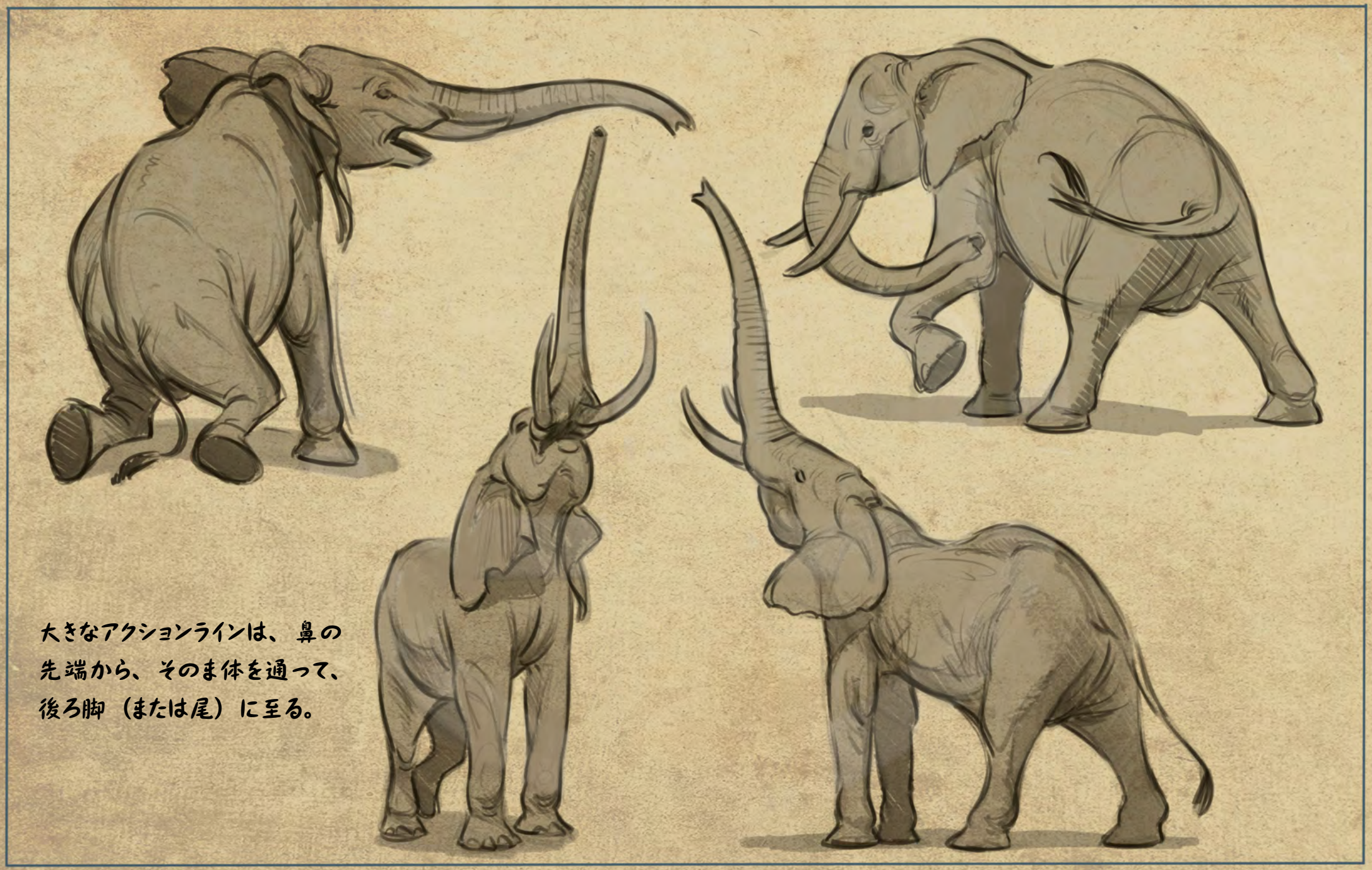


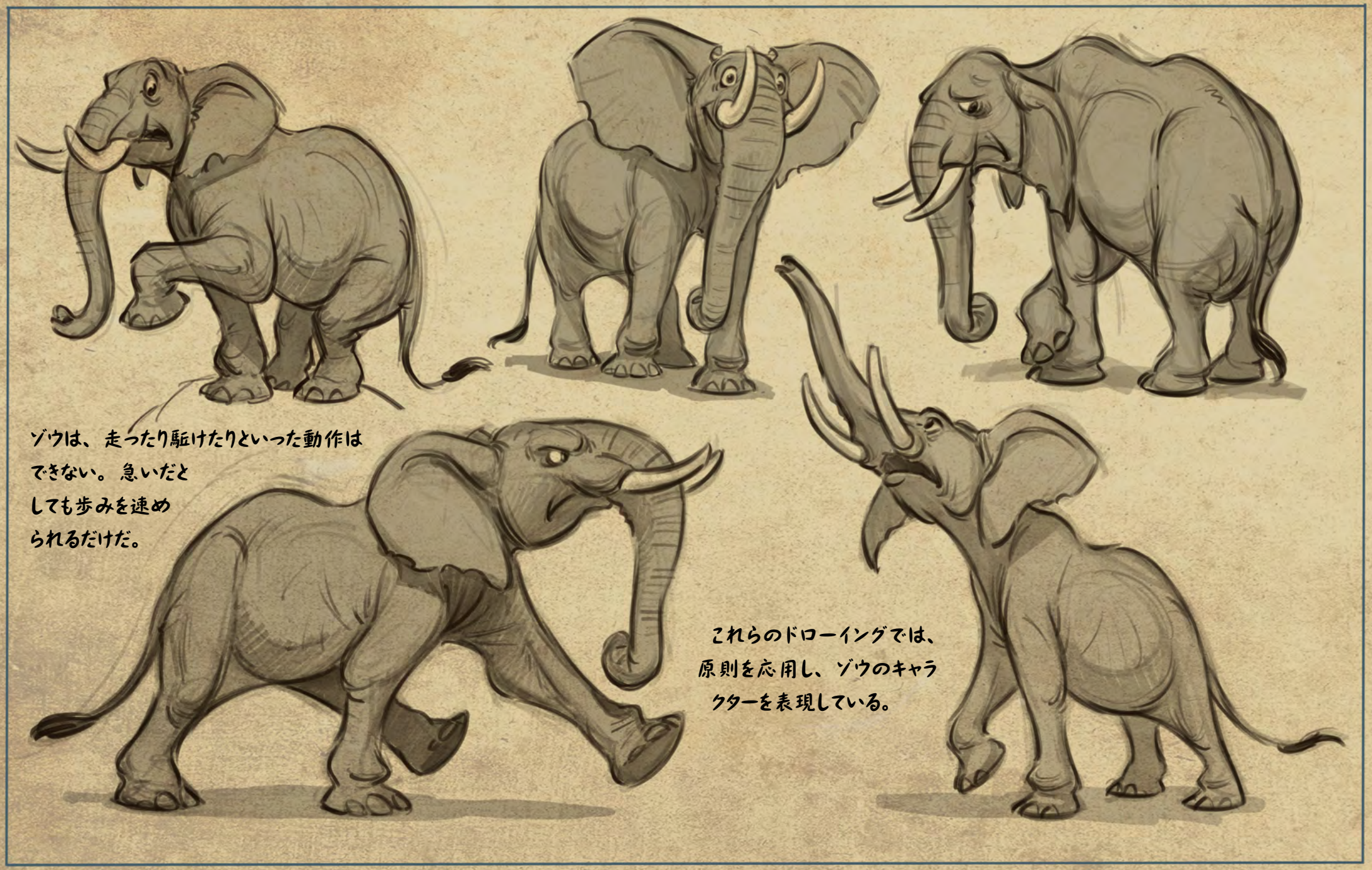
スピードと敏捷性の高いネコ科の動物とは違い、ゾウの身体構造は重量を支えるための作りになっている。ネコ科の動物の脚は、アコーデオンあるいはバネのような伸縮が可能になるように、関節で大きく曲がる。対照的に、ゾウは9トンにも達する巨体を支えなくてはならない。上下の脚は直線状に並んでいる。建物の重量を支える柱のようなものだ。

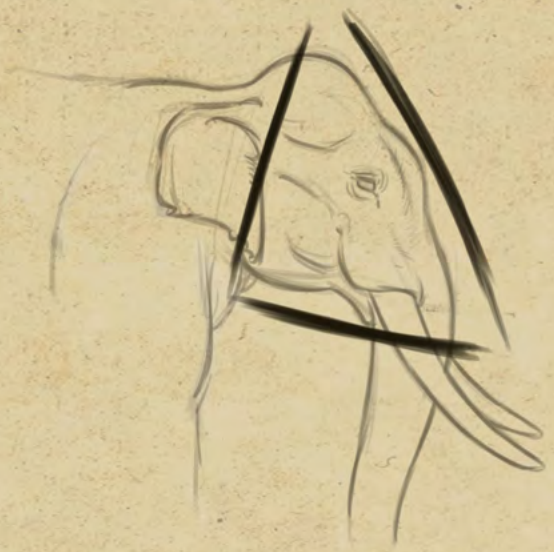
アフリカゾウの頬骨は、噛む動作を可能にするように、大きく張り出している。目のすぐ下が、最も幅の広い領域だ。その結果、頬骨の周辺では面が大きく変化する。


膝と腹の間には、たっぷりと皮膚が垂れ下がっている。
がっしりとした巨大なゾウでも、ジェスチャーと良いシルエットを探すことの重要さは変わらない。
肘は低く垂れ下がっている。
背面から見て描いたスケッチ。耳の付け根、臀部が垂れ下がっている様子の参考になるだろう。


牙を下からたどっていくと、目に辿りつく。
顔面を正面から見ると、左の図のような形状になっている。
耳の下端は、下顎の輪郭よりもほんの少し下まで垂れていることが多い。


大きなアクションラインは、鼻の
先端から、そのま体を通って、
後ろ脚（または尾）に至る。


ゾウは、走ったり駈けたりといった動作は
できない。急いだと
しても歩みを速め
られるだけだ。
これらのドローイングでは、
原則を応用し、ゾウのキャラ
クターを表現している。

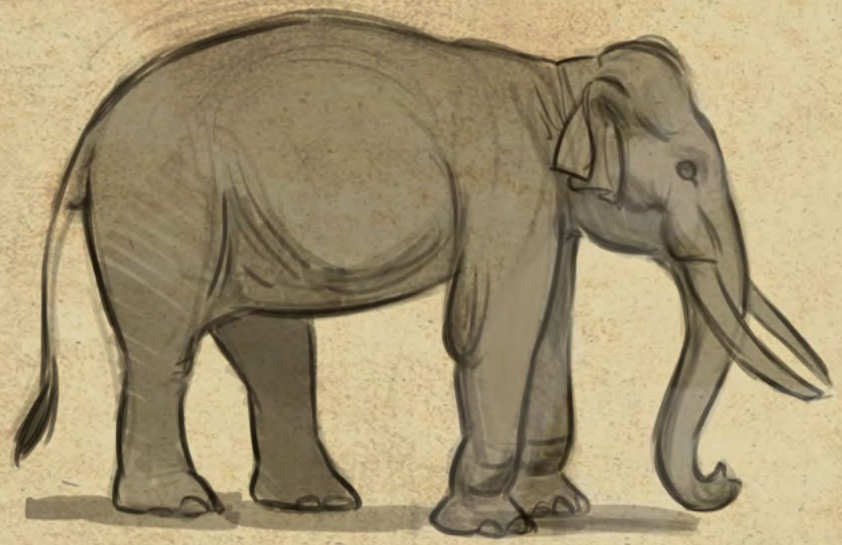


こちらはアジアゾウ。横から見た頭部は概ね三角形だが、額はアフリカゾウよりも凹凸が大きい。
下顎をもう一度よく見よう。
アフリカゾウよりも丸みがあり、たるんでいる。

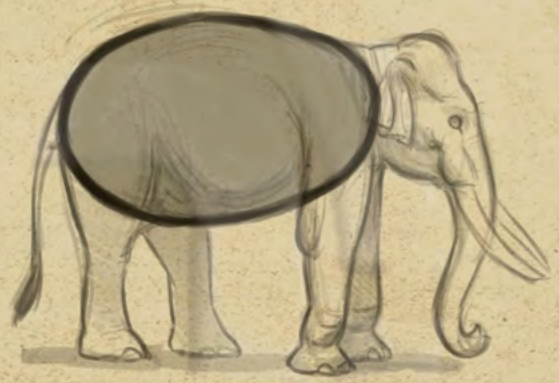
アジアゾウは、両目の間が
大きく盛り上がっている。

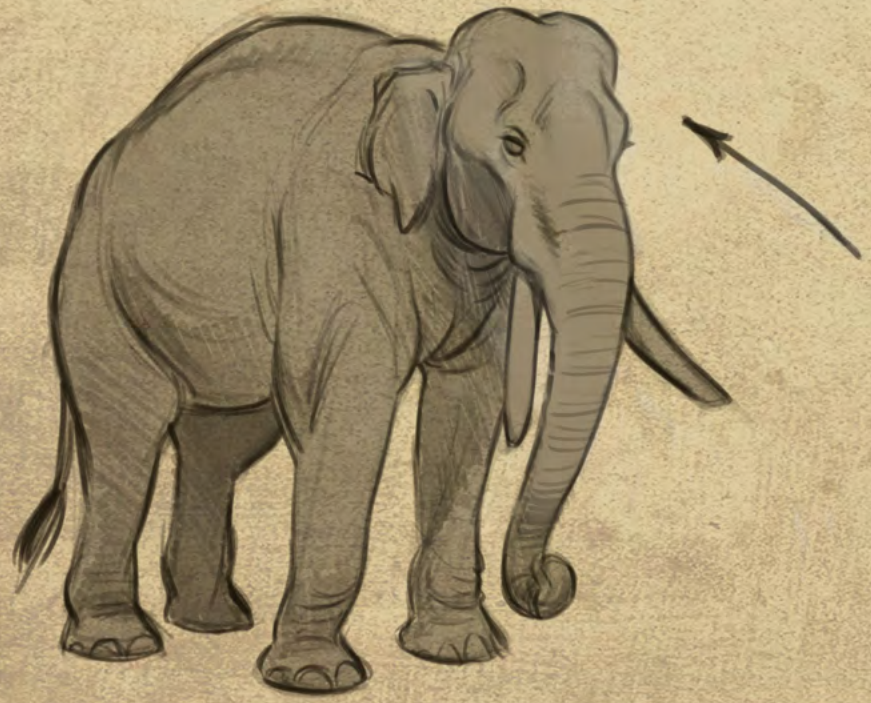
アジアゾウの顎は、
丸みがあり、皮がたる
んでいることが多い。

アフリカゾウと同じように、アジアゾウの頬骨と眼窩骨は
大きく張り出している。この影響で頬のあたりで面が大き
く切り替わる。また、牙および鼻のラインの裏側に大き
く沈み込む。

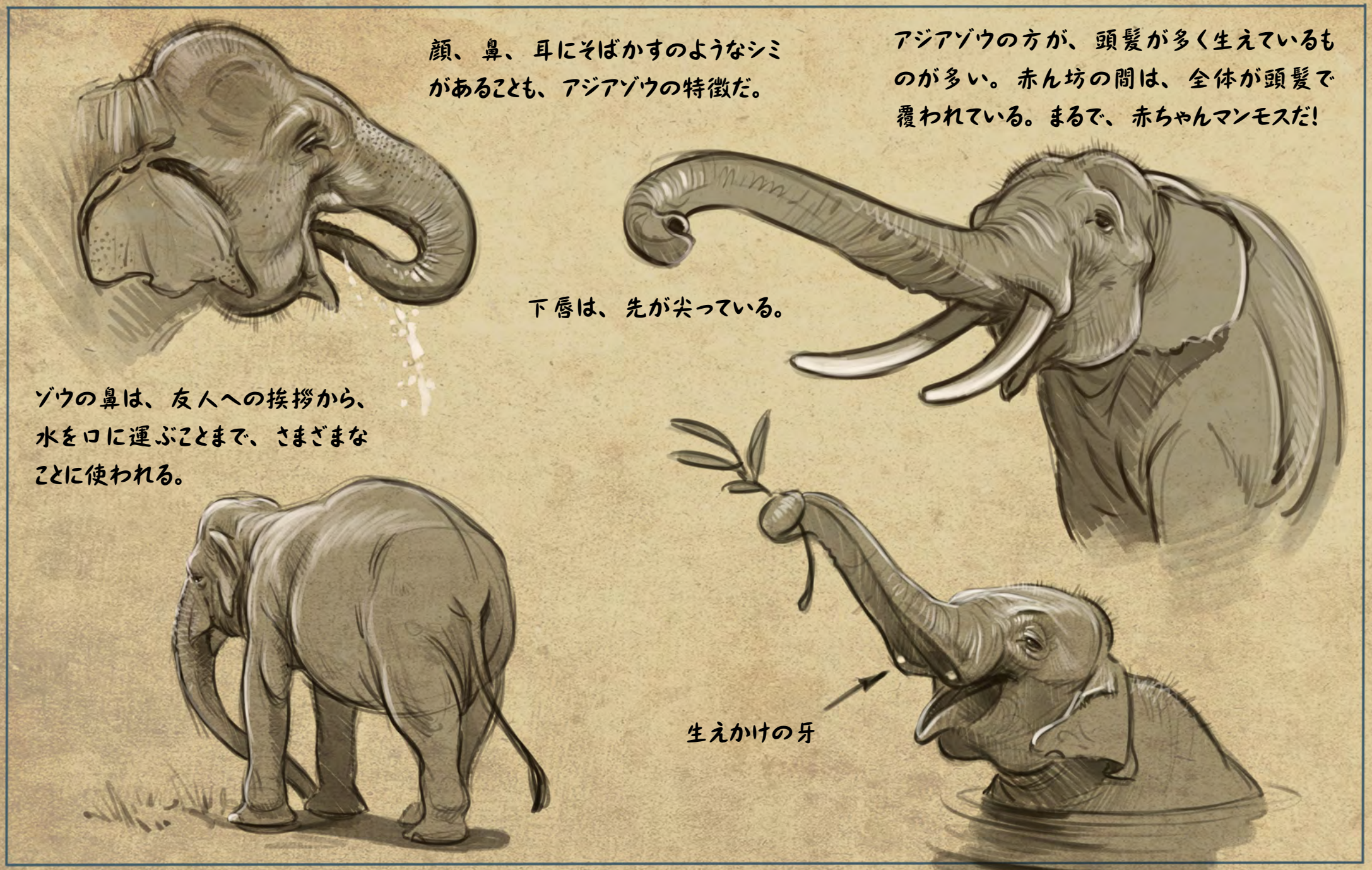


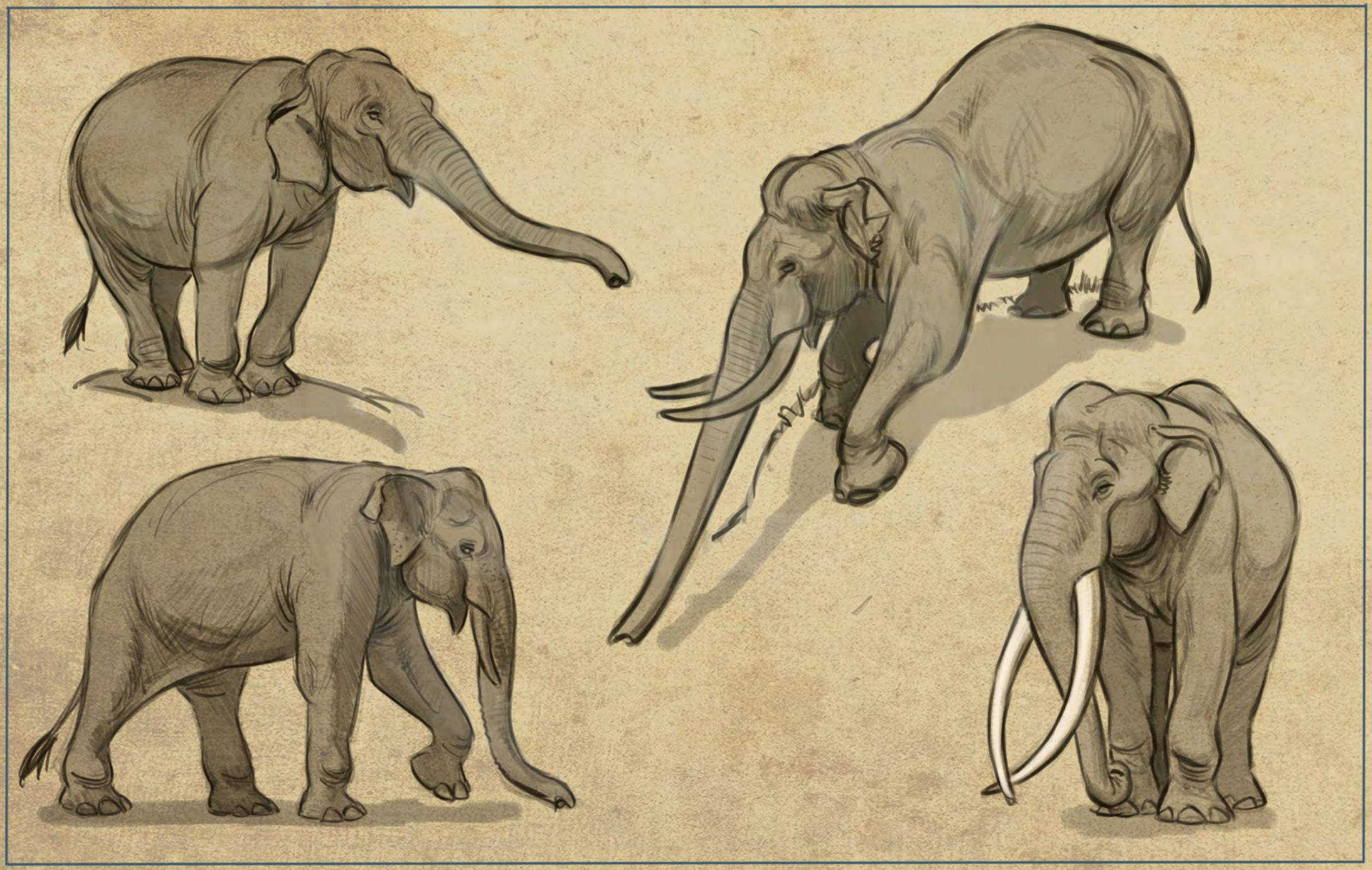
アフリカゾウとは異なり、アジアゾウには肩の盛り上がりがない。背中のラインは滑らかな弧を描き、腹の側も傾斜が少ない。したがって、体は卵形をしている。

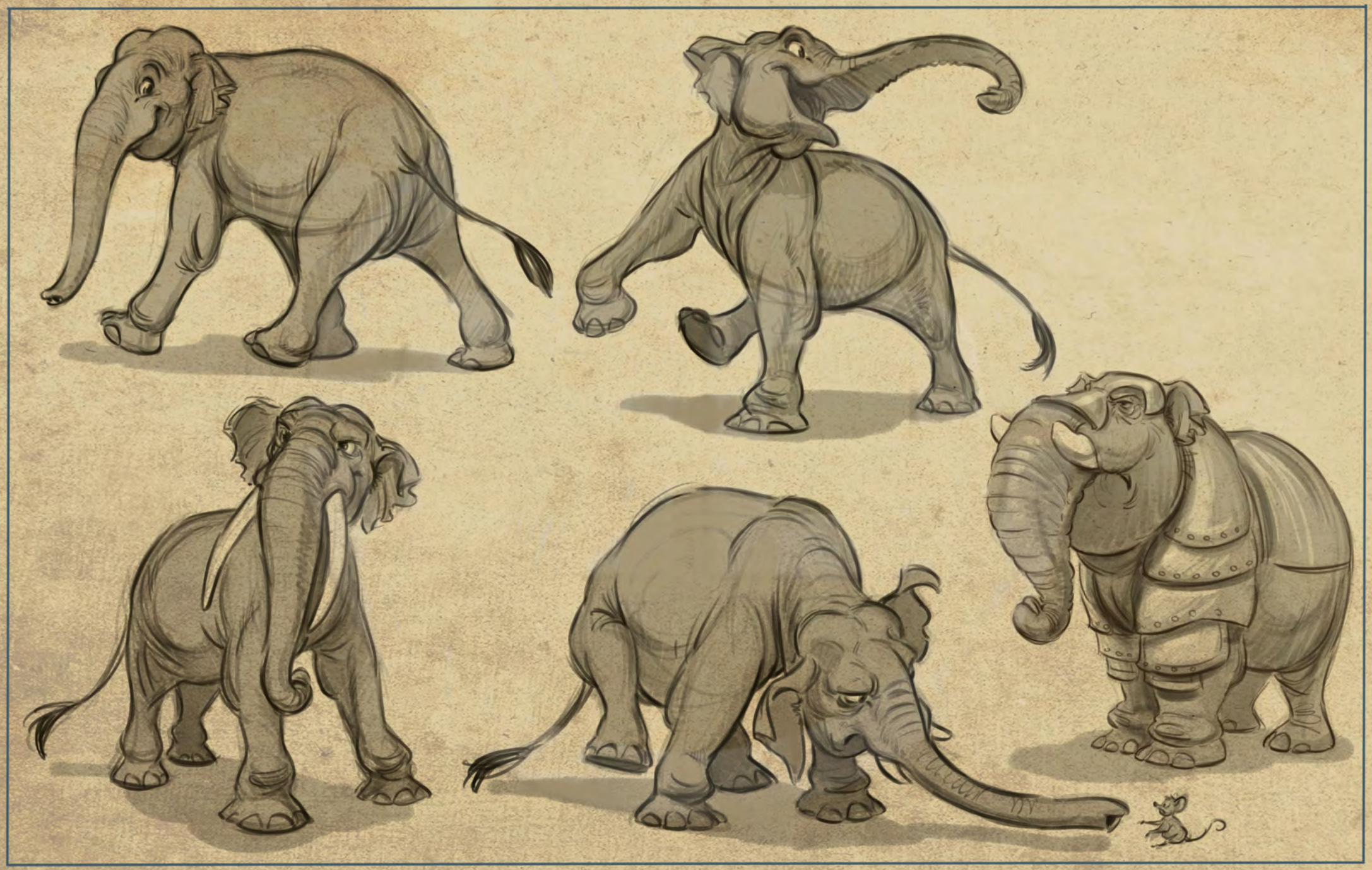




アジアゾウの頭の上には大きなコブ状のものが2つある。この頭部の特徴と、薄い耳たぶが、2種類のゾウの大きな違いだ。

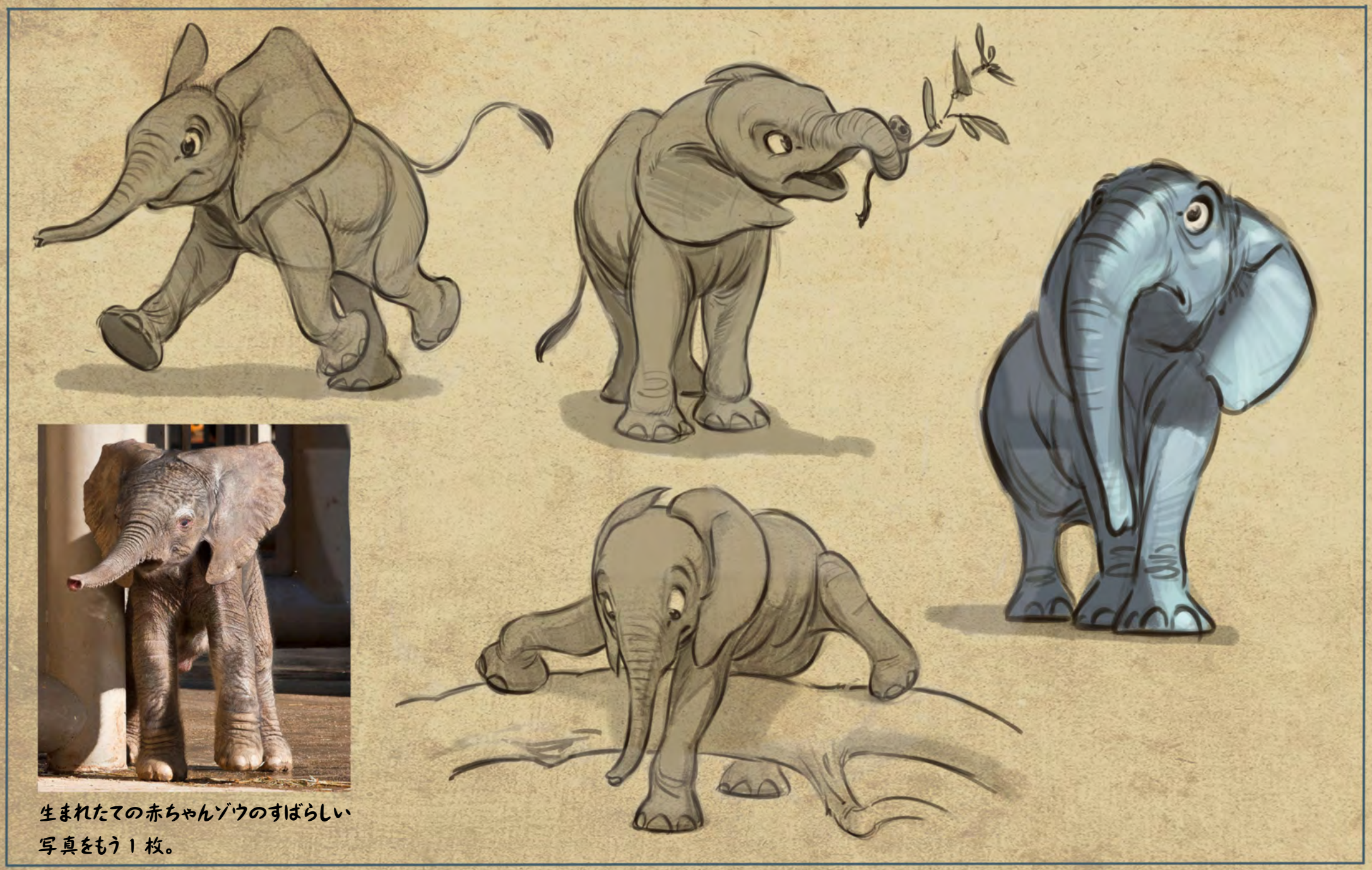

顔、鼻、耳にそばかすのようなシミがあることも、アジアゾウの特徴だ。
アジアゾウの方が、頭髪が多く生えているものが多い。赤ん坊の間は、全体が頭髪で覆われている。まるで、赤ちゃんマンモスだ!
下唇は、先が尖っている。
ゾウの鼻は、友人への挨拶から、水を口に運ぶことまで、さまざまなことに使われる。
生えかけの牙



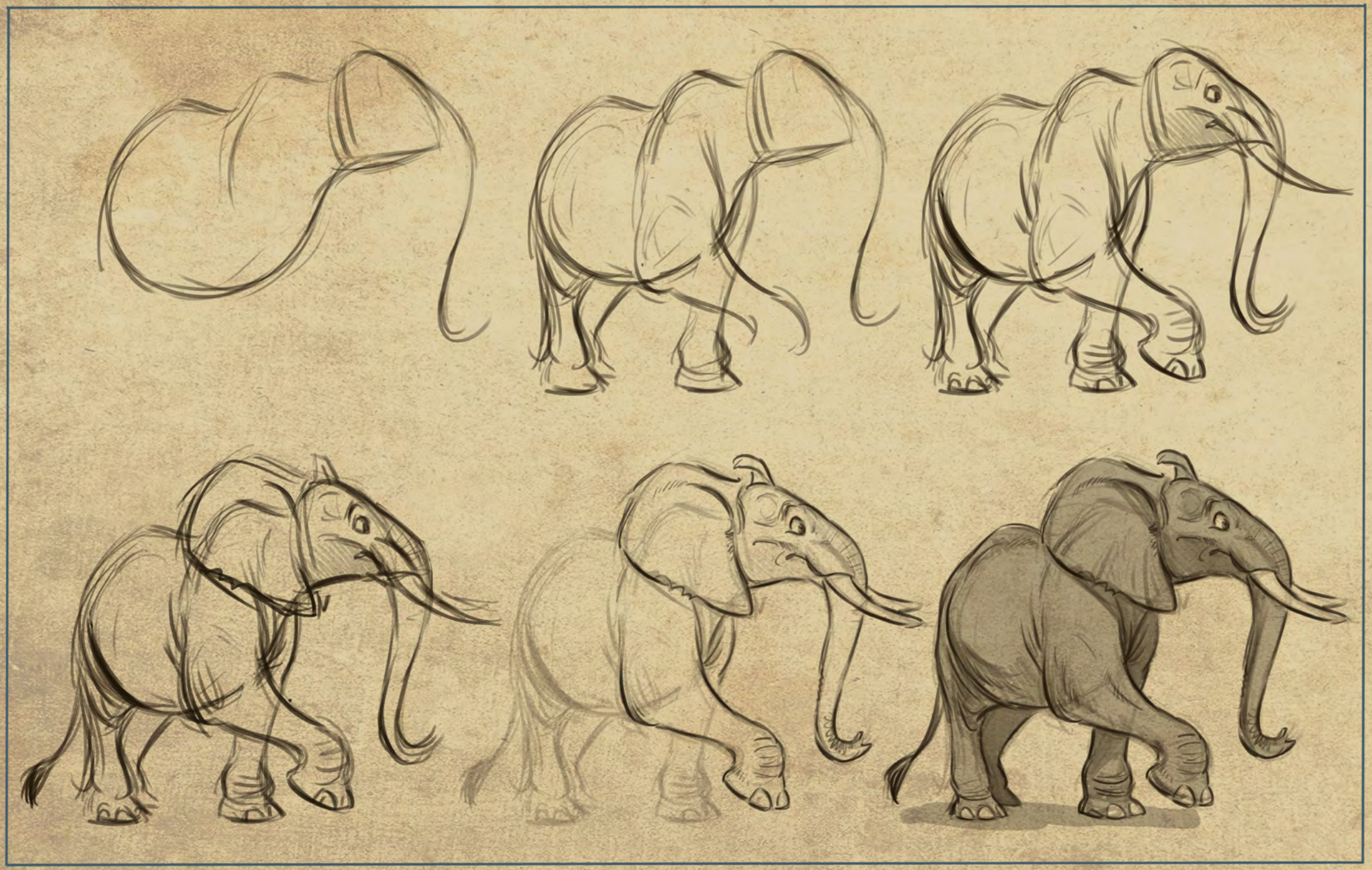


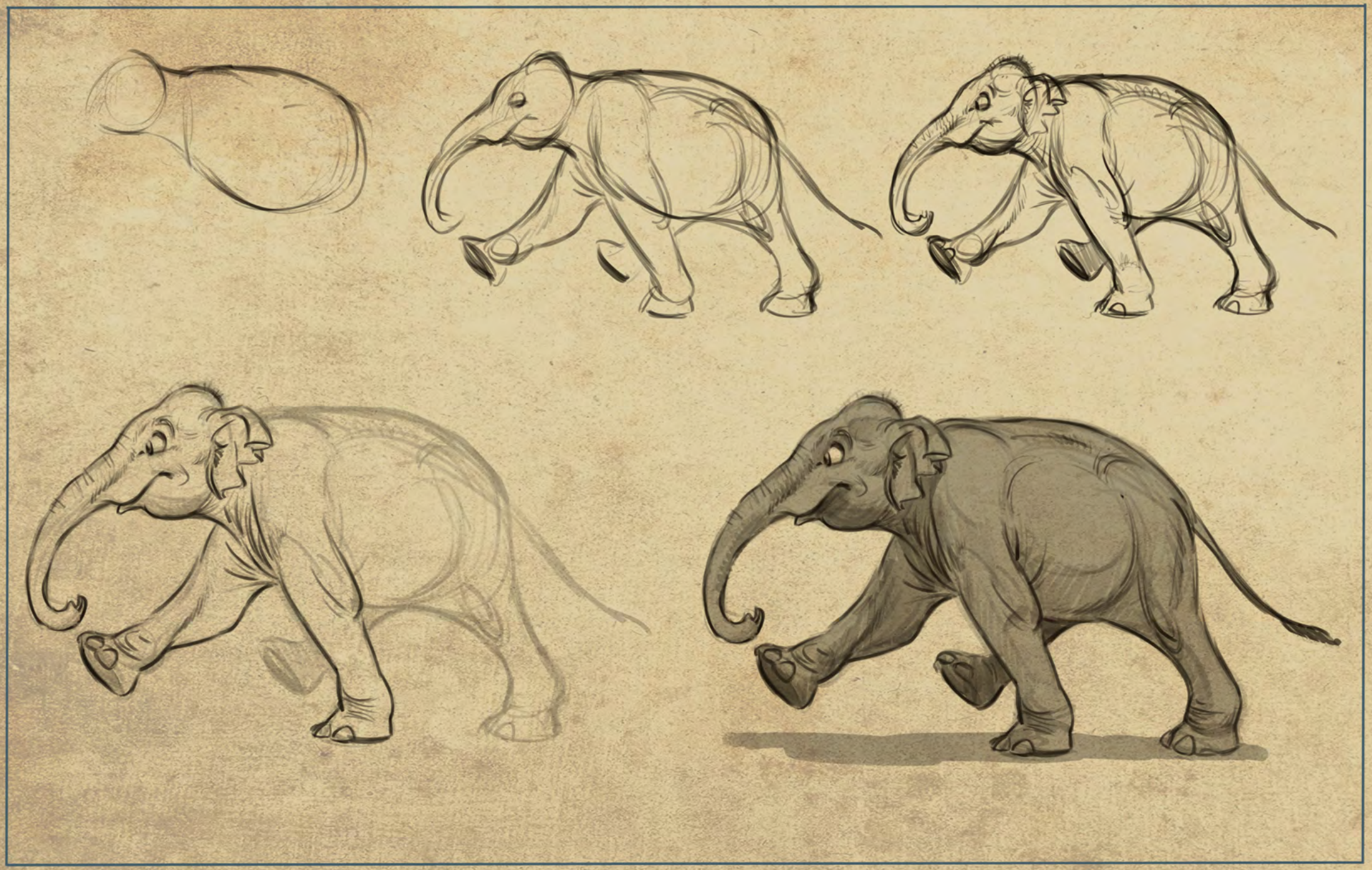
赤ちゃんゾウは大人と同じ身体構造だが、プロポーションは異なる。体に対して大きい頭。足はやや大きめで、何とも可愛らしい姿をしている。頭は卵形で、目は低い位置にある。鼻は頭や体と比べてずっと小さい。また、彼らの皮膚は、いかにもこれから育つという風に見える。

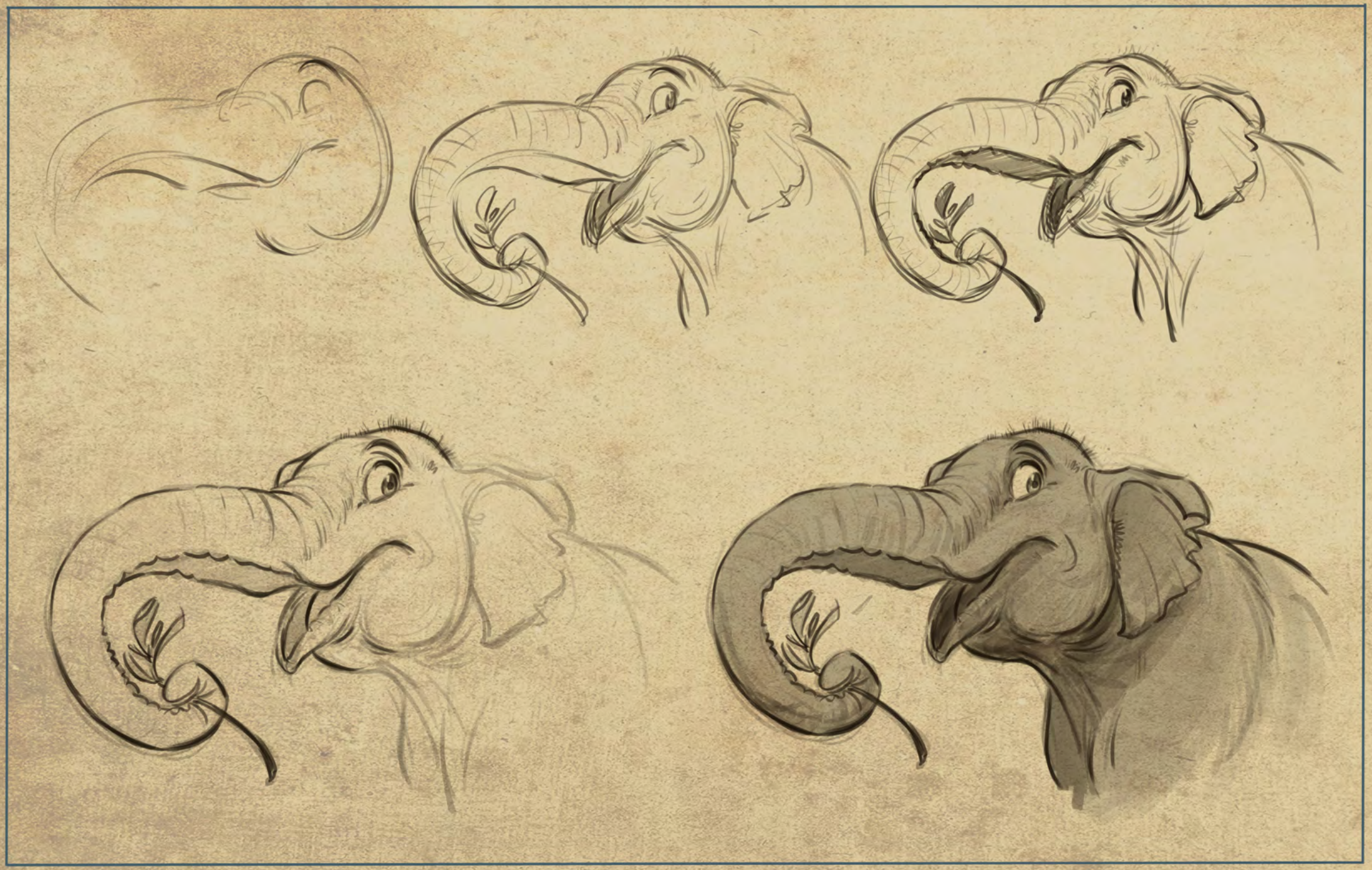
私は、生まれたてのアフリカゾウの写真が好きだ。

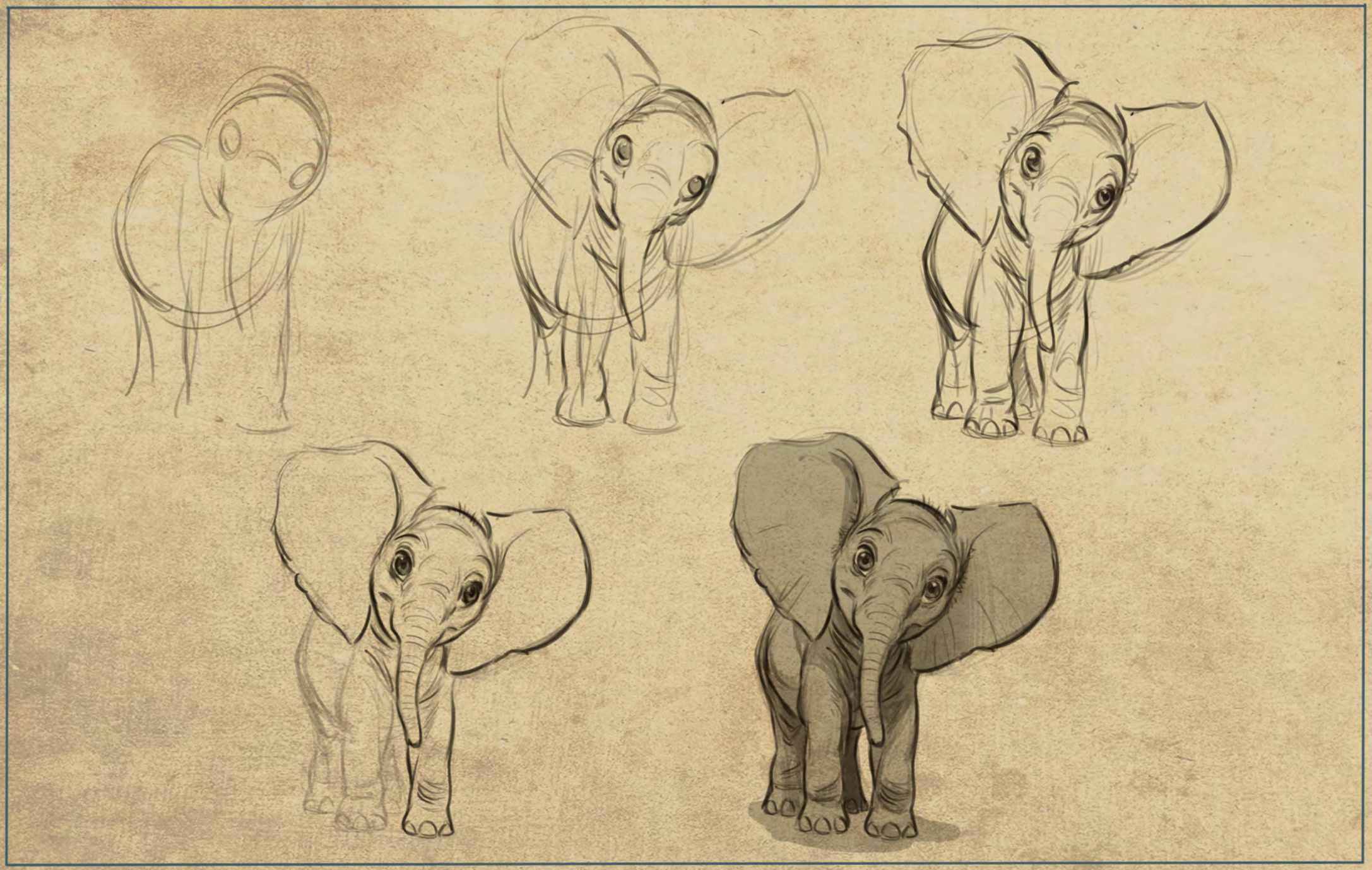


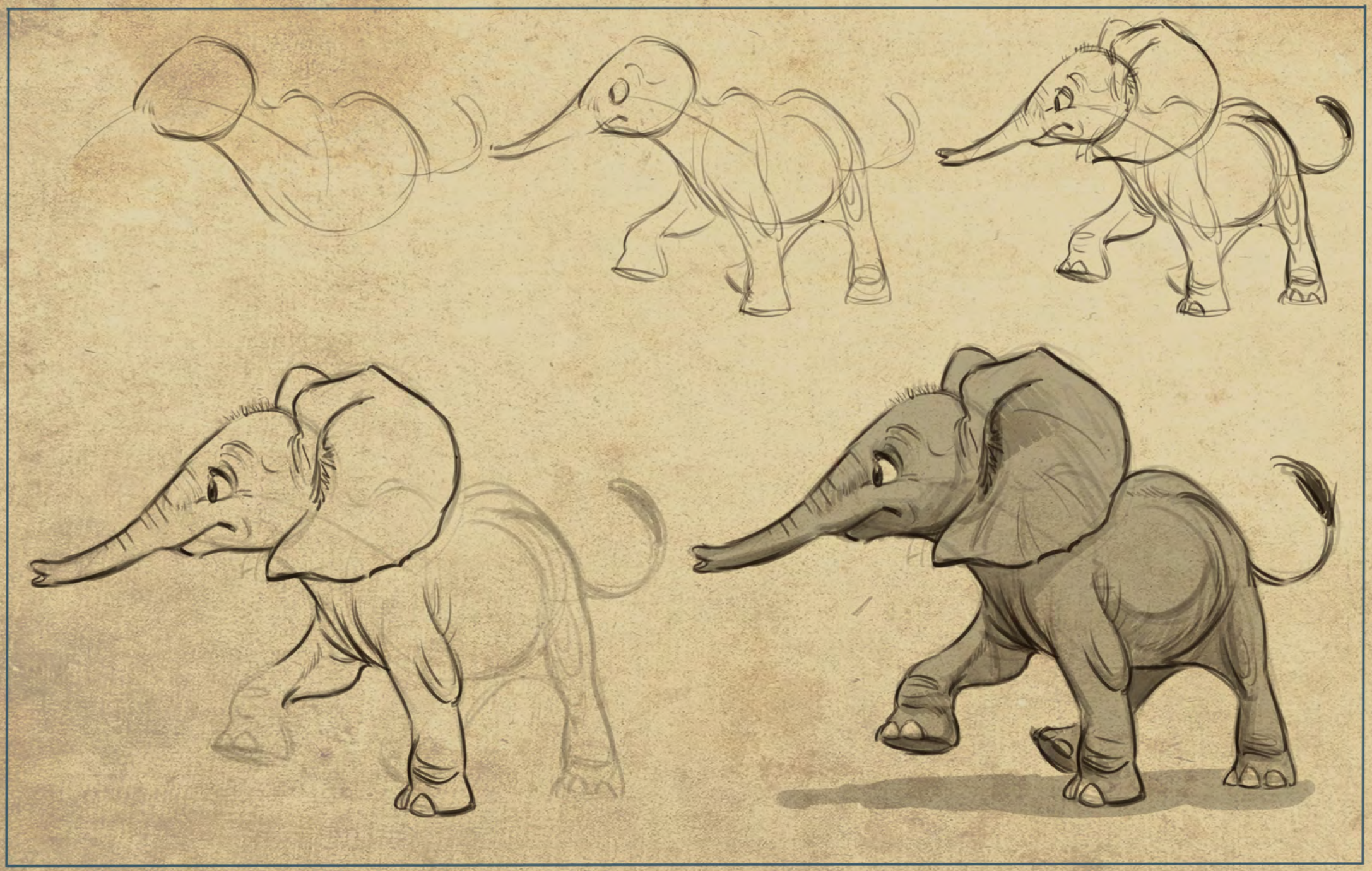
生まれたての赤ちゃんゾウのすばらしい
写真をもう１枚。



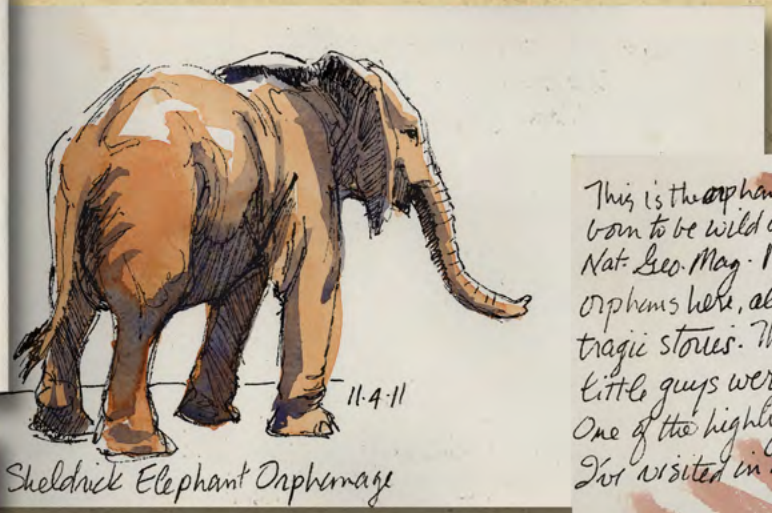


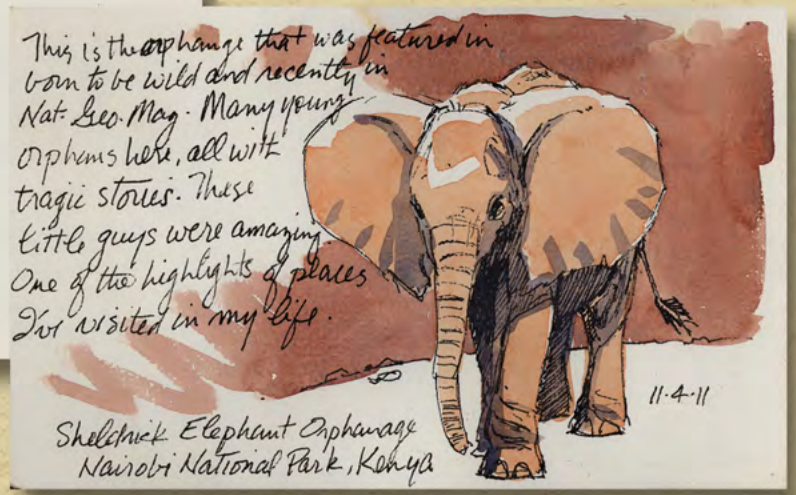


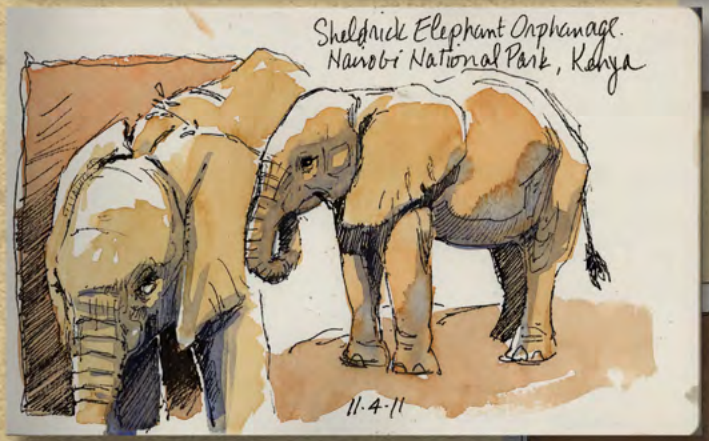


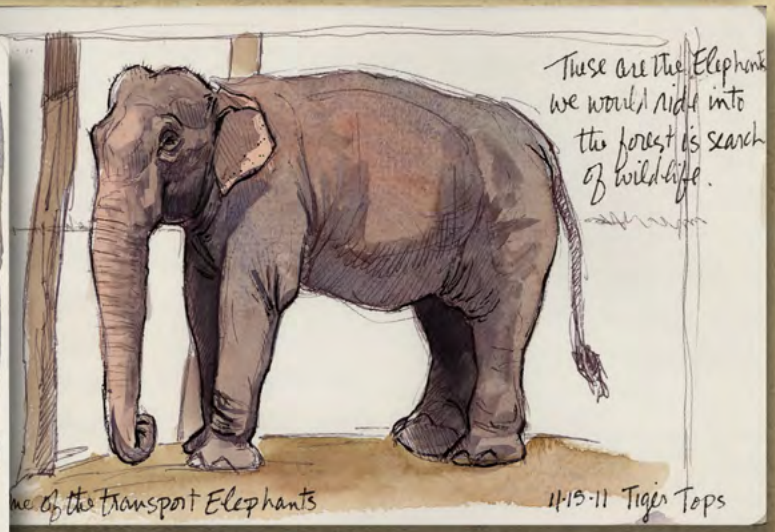


私のスケッチブックから、ランダムに選んだスケッチ。
可能な限り、いつでも、見たものを描こう。









「THE LEGEND OF TEMBO」
（未完成）のための調査
旅行で描いたスケッチ
11/11

アジアゾウの目の習作
ゾウは、動物界で
最も美しい目を持つ
動物の１つだ。

アフリカゾウのシワのパターン。アフリカゾウは、アジアゾウよりもシワが多い。シワは、指紋と同じように、個々に異なるものの、どのゾウにも同じように刻まれている。基本的なシワのパターン。

シワはダイヤモンド形のパターンを形成するが、深いシワは方向が揃っている。